

第 44 回企画展「YUKATA」

とらや 東京ミッドタウン店ギャラリーでは、2021 年 4 月 1 日(木)～9 月 27 日(月)の期間、浴衣をテーマにした企画展を開催いたします。



■概要■

着物は季節にあわせた生地や仕立て、着こなしなどが工夫された日本の伝統衣装であり、現在にまで受け継がれています。着物の模様と和菓子の意匠とには共通するものもあり、ともに日本人の持つ伝統的な美意識や季節感が反映されているといえるでしょう。

本展では“江戸の粋”を受け継ぐ老舗呉服屋・竺仙（ちくせん）のご協力のもと、浴衣の柄と和菓子に共通する意匠を通して、日本の四季を感じていただくとともに、染の技法「注染（ちゅうせん）」の紹介、伝統的なデザインの浴衣の反物を展示いたします。この展示をきっかけに、着物や浴衣、そして和菓子に親しんでいただけたら幸いです。

■基本情報■

名 称：第 44 回企画展「YUKATA」
会 期：2021 年 4 月 1 日(木)～9 月 27 日(月) ※休日・営業時間は店舗に準じます。
場 所：とらや 東京ミッドタウン店ギャラリー
(東京都港区赤坂 9-7-4 D-B117 東京ミッドタウンガレリア地下 1 階)
電話番号：03-5413-3541
企画協力：株式会社竺仙

■展示の具体例■

・浴衣と和菓子 ー共通する意匠ー

笠仙の浴衣の柄と、とらやの大正時代の菓子見本帳に描かれた菓子の絵図に共通する、日本の四季が表現された意匠(18種類)をパネルでご覧いただきます。

・季節をまとう

衣がえや、季節ごとの装いの変化についてのご紹介とともに、笠仙の美しい浴衣の反物を6点展示。

・浴衣はこうして染められる

笠仙を代表する染の技法“注染”の工程を、写真や職人が実際に使用している道具とともに説明いたします。

■販売商品■

展示内容にちなみ、東京ミッドタウン店限定で5つの生菓子を順次、期間・数量限定で販売いたします。笠仙のロゴマークである竹や、浴衣と共通する花の意匠の菓子を中心に選びました。

①羊羹製『竹の緑 (たけのみどり)』

【販売期間】2021年4月1日(木)～11日(日)

【価格】1個 486円 (本体価格 450円)



②外良製『うぶ衣 (うぶぎ)』

【販売期間】2021年5月16日(日)～25日(火)

【価格】1個 486円 (本体価格 450円)



③琥珀製『花扇 (はなおうぎ)』

【販売期間】2021年7月16日(金)～25日(日)

【価格】1個 486円 (本体価格 450円)



④琥珀製『若葉蔭 (わかばかげ)』

【販売期間】2021年8月16日(月)～25日(水)

【価格】1個 519円 (本体価格 480円)



⑤外良製『秋日和 (あきびより)』

【販売期間】2021年9月10日(金)～19日(日)

【価格】1個 486円 (本体価格 450円)



■企画協力（敬称略）■

株式会社竺仙（ちくせん）



江戸時代後期の 天保 13 年(1842)、江戸随一の歓楽街だった浅草に創業。江戸より続く江戸小紋や、浴衣を中心に販売を展開している老舗の呉服屋。

“江戸の粋”を表現した美しい柄の浴衣は、江戸末期より伝わる型紙と職人の確かな技術・感性でつくられており、今でも多くの人々に愛され続けています。職人の手仕事を通して江戸時代から変わらないものづくりを続け、現在日本橋に店舗を構えています。



【とらや 東京ミッドタウン店】

和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという思いから、ギャラリーを併設し企画展を開催しています。想いを同じにする方とパートナーを組み、ふろしきや漆、磁器などをテーマに、これまで企画展を実施してまいりました。

これからも、日本文化を今の時代にあった新しいかたちで発信していきます。



<取材に関する問い合わせ先>

株式会社 虎屋 マーケティング部 広報 担当者：小谷（おだに）・奥野

東京都港区元赤坂 1-5-8 虎屋第2ビル 3 階

電話：03-3408-4128 / FAX 03-3408-6274 メール：kouhou@toraya-group.co.jp